

第1章 はじめに

1. 策定の趣旨

全国的に人口減少や少子高齢化が進展する中、地域の活力を持続し、住民が住みやすさを感じながら生活していくためには、自治体がそれぞれの強みを活かしつつ、圏域全体で連携し課題解決に取り組むことが重要です。

久留米広域連携中枢都市圏では、これまで4市2町で連携し、圏域の結びつきを活かして経済成長や都市機能の強化、生活利便性の向上などに資する取組を進めてきました。第3期ではそれらの成果と課題を踏まえ、人口減少と多様化する地域課題の中にあつて、圏域全体の持続可能性を高め生活の質と魅力を向上させるとともに、圏域内外を問わず多くの人に選ばれる圏域を目指します。

本ビジョンは、福岡県南地域における経済・文化の中心地域として本圏域が自主自立的に発展していくため、その魅力を高め、一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持していく上での方向性や取組を示すものです。

2. 連携中枢都市圏の名称及び構成自治体

(1) 連携中枢都市圏の名称

久留米広域連携中枢都市圏

(2) 連携中枢都市圏の構成自治体

連携中枢都市：久留米市

連携市町：大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町

3. 計画期間

2026年度（令和8年度）から2030年度（令和12年度）までの5年間